

新型コロナウイルス感染症に伴い特に影響を受けた事業

【令和3年10月末時点】

- 1 災害医療対策について
- 2 感染症対策について
(新型コロナウイルス感染症を除く)

保健総務課

1 災害医療対策について

災害医療体制の概要

- 船橋市では医療関係者や市民代表で構成される「船橋市地域災害医療対策会議」で、発災後48時間以内の医療体制について検討し、令和2年4月から以下のように体制を変更した。
 - ①市内で震度6弱以上を観測した場合には、二次救急病院前に病院前救護所（市内9ヶ所）を設置する。
 - ②病院前救護所では、参集した医療関係者が、トリアージ（重症度の判別）と軽症者の治療を行う。
 - ③二次救急病院内では、中等症・重症者の専門的治療を行う。
 - ④市が保健福祉センターに設置した災害医療対策本部では、災害時の医療提供の調整を行う。

今年度、実施できたこと①

I 保健所職員向けのMCA無線および広域災害救急医療情報システム（EMIS）利用方法についての研修の実施（6月）

※EMISとは災害医療にかかわる情報を収集・提供し被災地域内での迅速かつ適切な医療・救護活動を支援することを目的としたシステム
（6、7ページ参照）

II 船橋市地域災害医療対策会議の開催（2月開催予定）

今年度、実施できたこと②

Ⅲ令和3年10月7日（木）地震への対応
（8ページ参照）

Ⅳコロナ禍における病院前救護所設置・運営訓練の実施
（12月18日実施 9ページ参照）

Ⅴ船橋市災害時看護職ボランティア制度の創設（6月）

Ⅵ災害時の医療資材等の購入経費に対する追加補助
（1月以降）

Ⅶ病院前救護所で感染対策のため使用する非接触型
体温計の購入

I-1 EMISS画面①（医療機関の入力画面）

■ 練習名

練習名

登録者名

■ 対象機関

機関コード

医療機関名

■ 被災状況（緊急時入力）

緊急時入力(練習用)

最終更新日時：2021/06/07 14:27:01

入院病棟

ライフライン

多数患者

職員

その他

■ 入力状況（詳細入力）

詳細入力(練習用)

最終更新日時：---/--/-- --:--:--

施設・設備情報

建物の危険状況

未入力

ライフライン・サブライ状況

未入力

手術・透析の状況

未入力

患者数情報

■ 緊急時入力項目

入力

緊急時入力（発災直後情報）

入院病棟の危険状況

倒壊、または倒壊の恐れ

有

無

火災

有

無

浸水

有

無

ライフライン・サブライ状況

代替手段でのご使用時は、供給「無」または「不足」を選択してください。

電気の通常の供給

無

有

水の通常の供給

無

有

医療ガスの不足

不足

充足

医薬品・衛生資器材の不足

不足

充足

患者受診状況

多数患者の受診

有

無

職員状況

職員の不足

不足

充足

その他支援が必要な状況

その他

有

無

必要な情報を選択し、
「入力」をクリックする

- ・ 発災直後に、各医療機関において被害状況を入力。
- ・ 市内登録医療機関数 22病院、6有床診療所

6

I-2 EMISS画面②

支援要否凡例

要未

医療派遣ステータス凡例

※練習のため、「手配済」「支援中」は表示されません

要手配未入力手配済支援中

すべて

医療機関

避難所

救護所

その他

災害医療対策本部（保健所）で確認する画面

チーム表示切替

要手配/未入力のみ表示する

緊急

詳・機能

詳・現患

その他

支援要否	医療派遣ステータス	名称	更新日時 ▼ ▲	医師出勤状況 ▼ ▲	緊急時入力										手術・透析の状況						
					入院病棟の危険状況			ライフライン・サブライ状況				多数患者受診	職員状況	その他	更新日時 ▼ ▲	手術不可	人工透析不可	実働病床数 ▼ ▲			
					倒壊・倒壊の恐れ	火災	浸水	電気使用不可	水使用不可	医療ガス使用不可	医薬品衛生資器材使用不可										
千葉県					1	0	1	0	2		1	0	2		2	3	907				
東葛南部					要支援：6 未入力：12										1	0	2		2	3	907
-	-	病院	06/07 14:27	-											06/07 14:27	-	-	-			
要	要手配	病院	04/07 11:50	-	◆	◆	◆								04/07 11:50	-	-	-			
要	要手配	病院	05/28 18:33	-	◆		◆	◆		◆		◆			05/28 18:33	-	-	-			
要	要手配	病院	06/04 12:14	-	◆										06/04 12:14	-	-	-			

- 医療機関の入力した被害状況やライフラインの確保状況が一覧で確認できる。また、必要な支援が一目でわかり、千葉県やDMATもリアルタイムで共有でき迅速な支援につながる。

対応事例

Ⅲ 令和3年10月7日の地震対応

日付	時間	対応内容
10/7	22:41	地震発生（震度5弱）
	23:15	災害対応にあたる保健所職員到着
		EMISモニタリング開始
	23:50	EMIS未入力 of 医療機関に被害状況の聞き取り開始
10/8	00:30	市内全病院の被害ないことを確認
	13:15	対応についての所内での振り返り

- ・ 振り返りを行い係長以上の職員間の情報共有ツールを各自のモバイル端末に導入することとした。
- ・ EMISの自主入力率を上げることが大切であると認識した。
- ・ 今回は被害なしだったが、被害があったときにどうするのか、改めて確認、所内での共有が必要。

IV 病院前救護所設置・運営訓練の様子

千葉徳洲会病院訓練の実施

- 日時 令和3年12月18日（土）
午後1時～午後4時30分
- 場所 千葉徳洲会病院
- 参加者 千葉徳洲会病院スタッフ：60人
医師会、歯科医師会、薬剤師会、千葉県柔道整復師会：計8人
市内災害医療協力病院：12人
船橋市職員：22人

訓練での検証及び課題

- 検証

- 病院前救護所設置・運営できるか
- START法トリアージを実施し、トリアージタグを活用できるか
- PAD法で緑エリア傷病者の二次トリアージを実施できるか
- 新型感染症流行を考慮した運営ができるか

課題

- 真冬かつ外で運営する場合の検温の正確性
- 多数が病院前救護所に来たときの検温することができるか
- 災害は季節を選べないので季節に応じた対応を訓練をとおり検討する

病院前救護所設置、運営訓練 (千葉徳洲会病院) ①

設置、運営訓練の全体像



検温エリアの様子



病院前救護所設置、運営訓練 (千葉徳洲会病院) ②

緑エリアの様子①



緑エリアの様子②



病院前救護所設置、運営訓練 (千葉徳洲会病院) ③

トリアージポストでの様子①



トリアージポストでの様子②



今年度、実施できなかったこと

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、年3回を計画していた病院前救護所設置・運営訓練が1回の開催となった。
⇒今年度開催の病院前救護所設置・運営訓練を災害医療協力病院に見てもらい来年度の訓練に向けて準備を進める。

今後の取り組み

- 病院前救護所設置・運営訓練を実施する。
令和4年度は3回開催を予定。
- 複合災害を踏まえて、コロナ禍における災害への
対応策を地域災害医療対策会議にて検討していく。
- 災害医療協力病院間及び市とのネットワークづくり、
連携の強化を図る。

「△」 一部中止または縮小

2 感染症対策について

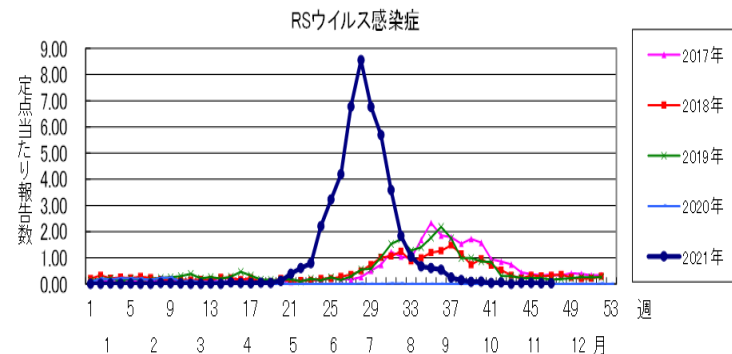
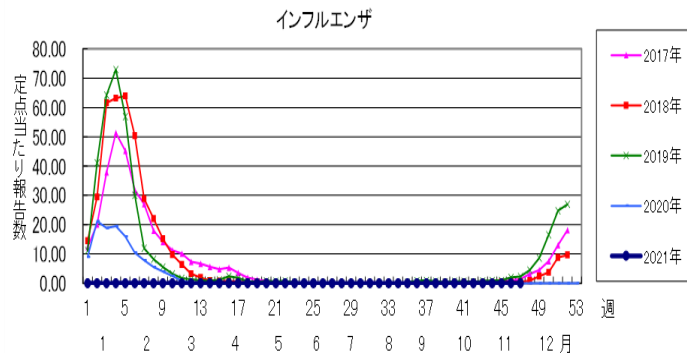
(新型コロナウイルス感染症を除く)

保健総務課

感染症の流行状況

(新型コロナウイルス感染症を除く)

- 新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、季節性インフルエンザなど例年流行する感染症の流行はみられない。
- RSウイルスは例年と異なる時期に流行があった。
→例年多く罹患する1歳未満の小児が罹患せず、免疫獲得しなかったと推察。
- サーベイランス、感染症予防の注意喚起を引き続き行う。



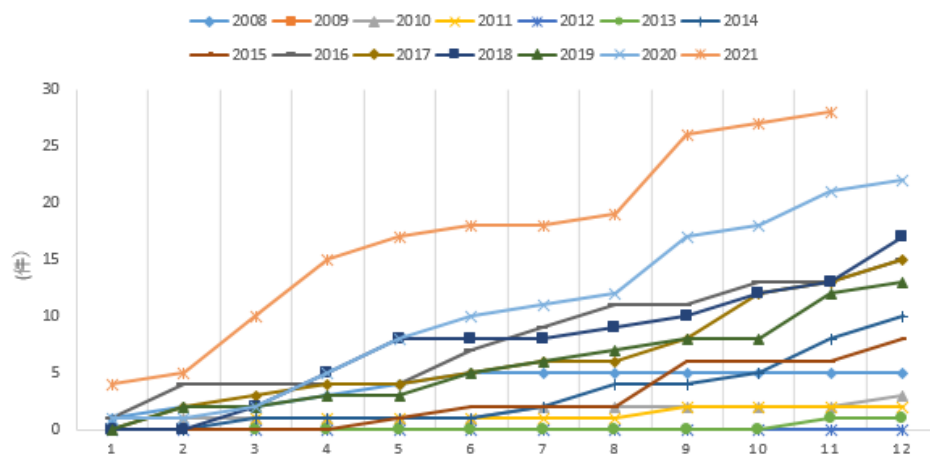
- 感染症流行が少ない中、「梅毒」が増加。

トピックス

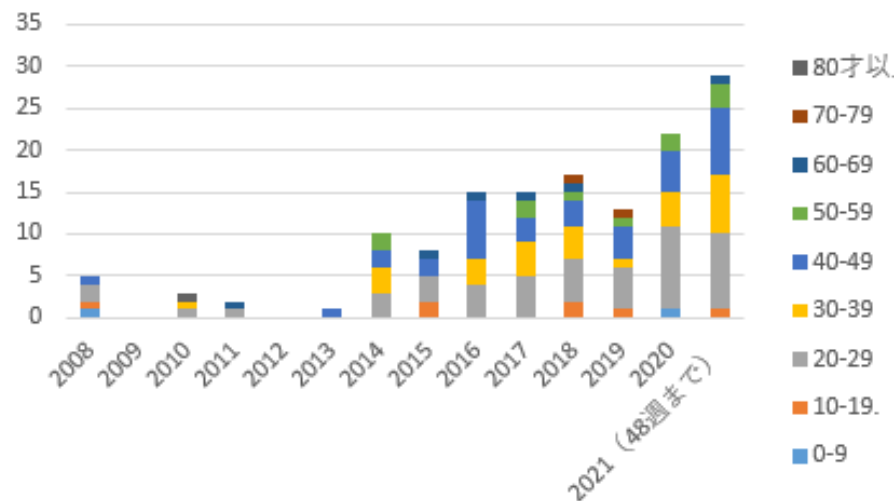
梅毒の報告数増加

- ・届出が過去10年間で最多。（全国的傾向）
- ・年代は20代から40代が多い。 男女比は男性7割女性3割。

船橋市 梅毒発生届出月別累積報告数（年別）



船橋市梅毒発生届出数の年次推移（年代別）



トピックス

梅毒とは

病原体	梅毒トレポネーマ
感染経路	性的接触。母子感染。
潜伏期間 と症状	潜伏期間：約3週間 第1期（感染後約3週間）：感染部位にしこりができる。 第2期（感染後数か月）：全身に赤い発疹ができる。（バラ疹） 潜伏期：それまでの症状が消えるが体内では感染が進行。 晩期顕症梅毒（感染後数年）：心臓・血管・脳などへの障害。 妊婦は胎盤を通じ、胎児へ感染させる。 流産、死産、先天梅毒を起こす可能性あり。
治療	抗生物質の服用。パートナーと一緒に治療する。
予防	コンドームの使用。不特定多数の人との性的接触はリスク因子。

- 心配があれば早めに検査、医療機関の受診、早期治療を。
妊婦は妊婦健診で梅毒検査を受ける。
- 保健所では匿名無料で検査を実施。

今年度、実施できたこと

- I 結核対策は継続。今年度より「ふなばし結核通信」を発行。
- II 令和3年5月からHIV検査・性感染症検査を再開。
予約方法で「船橋市オンライン申請・届出サービス」を活用。
匿名の検査であるが、申し込み者に対して、検査中止の連絡がメールで可能となり、利便性の向上を図った。
- III 世界エイズデーの啓発のため、「世界エイズデーinふなばし応援サポーター」として、県立船橋芝山高校吹奏楽部の演奏とメッセージをHP上で公開。
高校生やその家族への啓発強化を図った。



今年度、実施できなかったこと

- 例年4月から実施していたHIV検査・性感染症検査は、新型コロナウイルス感染症の影響で5月から再開したが、8月～10月の4回分の検査が中止となった。
- 世界エイズデー街頭キャンペーン中止。
→HPによる周知とする。（前頁Ⅲ参照）
- 蚊媒介感染症（デング熱等）に関する蚊のウイルス保有調査中止。

今後の取り組み

- 引き続き感染症の発生状況等の情報を収集し、関係機関へ迅速に情報提供、連携を図る。
- 感染症の予防方法やまん延防止に関する情報をSNSを活用し広く市民へ周知、啓発を行う。
- 新型コロナに関わらず、あらゆる感染症のサーベイランスを行い、感染症の流行を未然に防ぎ、まん延防止のための感染症予防対策を着実に実行する。